

\*\*\*\*\*

2007 年度 第7回 音環境運営委員会 議事録

記録:田端

\*\*\*\*\*

- A. 日 時 2008 年 3 月 27 日(木) 17 時 00 分～19 時 30 分
- B. 場 所 建築学会会議室 #202
- C. 出席者 赤尾伸一, 岩瀬昭雄, 岩本 毅(濱田委員代理), 安藤 啓, 大鶴 徹, 河井康人, 古賀貴士, 岸永伸二, 坂本慎一, 佐久間哲哉, 田端 淳, 中澤真司, 平松友孝, 福地智子, 吉村純一, 安岡博人(敬称略)
- 欠席者 井上勝夫, 吉久光一(敬称略)
- D. 提出資料
- No.7-0 2007 年度 第6回 音環境運営委員会議事録(案)(坂本)
- No.7-1 2007 年度第6回環境工学本委員会議題(大鶴)
- No.7-2 アカデミックスタンダード作成のフロー(大鶴)
- No.7-3 大会プログラム編成細分類表(大鶴)
- No.7-4 建築音響における音声伝送関連研究(大会オーガナイズドセッション)(大鶴)
- No.7-5 日本音響学会建築音響研究会(吉村)
- No.7-6 CASBEE 改定案(平松)
- E. 審議事項
1. 前回議事録確認(資料No.7-0)
    - ・ 承認された.
  2. 環境工学本委員会(2008.3.27)報告(資料 No.7-1)(大鶴主査)
    - 音・振動関連の論文集委員会委員は佐藤史明先生が選任された. 論文集査読委員及び技術報告集査読委員は未だ確定していない. 追加の委員があれば主査へ連絡し, 事務局から本人にメールが届く. 同委員の更新は今後電子化する.
    - 2008 年大会研究集会に関し, 環境工学は「建築・都市・地球環境～今, 建築と都市に求められる環境性能～」(司会:久野先生, 副司会:石川先生, 記録:稲留氏)を予定.
    - 2008 年大会広報委員は久野先生に継続依頼する.
    - 2008 年度若手奨励特別研究委員会テーマ選考は, 28 件の応募があり, 4 件が採択された. 環境工学は「ダンブルディングにおける室内環境と健康障害に対する健康リスクの評価に関する研究:長谷川先生(秋田県立大)」が選ばれた. 次年度からも「100 万円/年」を目処に奮っての応募を期待する.
    - シンポジウムの資料の残数が少ない場合, AIJ デジタルライブラリとして公開できるようになる. Web にアップするか否か, ダウンロード(閲覧?)を有償とするか否かはシンポジウムの主催者が判断する.
    - 建築環境工学実験用教材の改訂:音の原稿は提出済み. 岩瀬先生, 藤本先生に査読を依頼した.
    - 建築環境工学用教材の改訂:改訂 WG で協議し, 「環境編・設備編」は分冊で検討する. 副読本としての構成とし, 図を主体として簡単な説明文をつける. 印刷は白黒. データの電子化は冊子とは別に考える. 次回 WG までに各運営委員会ごとに章, 項目を考える. 音環境は同 WG の坂本委員が検討し, 次回の音環境運営委員会に諮る.
    - アカデミックスタンダード小委員会報告(資料 No.7-2):アカデミックスタンダード作成のフローチャートが完成した. フローチャート中の刊行委員会は規準の販売予定数と販売価格から刊行を判断する.
    - 2008 年大会オーガナイズドセッション(資料 No.7-4):音環境は「建築音響における音声伝送関連研究」. 申込題数 8, 採択数 8.

- 2008年大会プログラム編成(資料No.7-3):2008.05.09(金)10:00～細分類調整会議.各運営委員会から1～2名.音環境は大鶴主査が担当する.同日13:00～プログラム編成会議.大鶴主査が委員を選任してメールで連絡する.関連分野の申告は2008.04.10まで.音環境関連で資料に記載された関連付けは「1(a)環境心理・生理/感覚・知覚心理—2(d)室内音響・音環境/主観評価」.この他に「1(f)環境心理・生理/景観・街並み・サウンドスケープ—3(a)環境騒音/調査・評価—4(h)騒音・固体音/騒音評価」が関連付けられるが,全て音環境傘下のため,関連付けの申告は行なわない.
  - 教育委員会委員推薦:学生の学力低下を懸念し,建築教育共同研究会を設置する.環境工学からは岩田先生が選任された.
  - WG設置申請:ガラス建築情報WG(建築設備運営委員会).
  - シンポジウム実施報告:「いわきアリオス大ホール見学会・シンポジウム」は307名が参加.
  - 委員の解嘱・委嘱:音響測定法小委員会,及び音響指標測定WGの織田慎一氏(NHK大坂局)を解嘱し,代わって井上恵美子氏(NHK放送センター)に委嘱する.
  - 建築学会奨励賞に音環境から応募が少ない.複数年の継続でも良い.多数の応募願う.
3. CASBEE対応について(資料No.7-6)(平松委員)
- CASBEE-新築2007について改定案を作成中.音環境運営委員会としてコメントを付ける.3月末締切であるが,間に合わない場合,2008版を対象とした改訂を検討.資料の内容をチェックし,意見があれば平松委員へメールする.
4. 小委員会・WG活動報告
- 固体音小委員会(平松主査)
- ボールによる床衝撃音の評価に関する音源収録を実施.今後,音源の作成～聴感評価実験,音源の物理的検討を行なう予定.
- 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会(濱田主査代理・岩本)
- 性能評価はシングルナンバーで行なう方向で検討.
  - 集合住宅の遮音性能が向上しているため,実際の住宅で室内騒音の測定を検討.
- 建築音響測定法小委員会(赤尾主査)
- 3/24に委員会を開催.特別な報告事項はなし.
- 室内音響小委員会(岸永主査)
- 2008年の活動計画を策定.3件目のシンポジウムのテーマを「拡散」とすることに決定.
  - 音声伝送研究WGは3/28にシンポジウムを開催.
  - スピーチプライバシー研究WGはオーガナイズドセッションを担当
  - 音響指標測定WGは今後の活動計画を議論.
- 音響数値解析小委員会(佐久間主査)
- 2/29に委員会を開催.ベンチマークのテーマ「吸音材料」の実測データの実測方法を検討.
  - 既往文献調査結果のデータベースを作成中.
- 企画・広報WG(安藤主査)
- 3/22のアカデミックスタンダード講習会に引き続き,3/28のシンポジウムではアカデミックスタンダードの考え方を説明する.
- その他
- 3/22アカデミックスタンダード(AIJES)「学校施設の音環境保全規準・設計指針」講習会を開催.約70名が参加.関係者に同書を紹介願う.(福地委員)

5. 他学会の予定

- 日本音響学会建築音響研究会(資料 No.7-5):3/28 建築会館会議室シンポジウム, 5/12 小林理研 音声伝送・学校音響, 6/20 騒音研究会と共催(吉村委員)

6. 次回の予定

- 次回は5月20日(火)17:00～ 建築会館会議室

2008年度 音環境運営委員会予定		
第1回	2008.5.20(火)	(決定)
第2回	2008.7.25(金)	
第3回	2008.9.26(金)	
第4回	2008.11.27(木)	
第5回	2009.1.20(火)	
第6回	2009.3.16(月)	